

平成 30 年度

新潟市新バスシステム事業評価委員会

開業 3 年間(H27.9～H30.8)
評価指標一覧表

本資料は新潟市と新潟交通(株)による運行事業協定に基づいた事業が対象の内容です。
新潟市が取り組む区バス・住民バスや、それ以外の乗合バス事業を営む会社の事業は
対象となっていません。



新潟市新バスシステム事業の評価指標一覧表

評価 ステージ	評価の 視点	【資料編】 ページ	評価指標	2年目の 評価指標	中間評価の 評価指標	中間評価に使用しなかった理由 / 新たに使用した理由		
						理由	備考	
事業性	事業の適正な運営	1	運行事業協定に基づく運用	○	①			
		2	新潟市内のバス利用者数	○	②			
BRT	BRTの 事業運営状況	3	萬代橋断面のバス乗車密度			【他の類似指標で効果を確認した。今後も実績を確認する。】	評価指標③および参考指標①により、輸送の効率化を確認済み。	
		4	BRT区間におけるバス利用者数	○	③			
		5	BRT区間内におけるバス停別利用者数			【他の類似指標で効果を確認した。今後も実績を確認する。】	評価指標③により、BRT区間におけるバス利用者数の増加を確認済み。	
	BRTの サービス内容	6	BRTの定時性	○	⑤			
		7	BRTの速達性		④	【中間評価として新たに変化を確認する必要がある。】		
		8	バス停（駅）や車両の分かりやすさ	○	「今後の取り組み」に記載			
バス路線 再編	乗り換えを導入した バスシステムの確立	9	ダイレクト便及び乗り換えが必要な便の平均乗車人数	○	⑧			
		10	鉄道との接続性	○	⑥			
		11	乗り換え地点におけるバス同士の接続性		⑦	【中間評価として新たに変化を確認する必要がある。】		
		12	乗り換え地点における各方面別の乗り換え人数（まち割60適用者数）			【他の類似指標で効果を確認した。今後も実績を確認する。】	評価指標⑧により、乗り換えが浸透しつつあることを確認済み。	
		13	乗り換え地点の課題			【他の指標で効果を確認した。今後も実績を確認する。】	参考指標③により対応例を示し、評価指標⑧により、乗り換えの状況を確認済み。	
	バス路線の再編による効果	14・15	乗り換え路線のうち、開業前後で経路変更のない区間におけるバス利用者数 / 新設路線におけるバス利用者数 →（変更）郊外路線・新設路線におけるバス利用者数	○	⑧・⑨		【中間評価にあたり、市内全体の郊外路線を確認できるよう指標を変更した。】	
		16	運賃収受の円滑性（運賃支払い方法の内訳）			【1年目を評価するための指標。今後も実績を確認する。】	運賃収受の円滑性が向上していることを確認済み。	
		17	まち割60適用回数のうち、りゅーと利用回数とのりかえ現金カード利用回数の内訳			【1年目を評価するための指標。今後も実績を確認する。】	りゅーと利用者が増加していることを確認済み。	
	参考指標	影響が期待できる	18	バスの運行本数	○	参考①		
			19	まちなかの動向	○		2年目評価時に短期的な変化が確認できなかったため、次回以降に再度評価する。	
20			情報案内システムの利便性		参考③	新たに変化を確認する必要がある。		
21			公共交通に関する市民の意識		参考②	新たに変化を確認する必要がある。		